

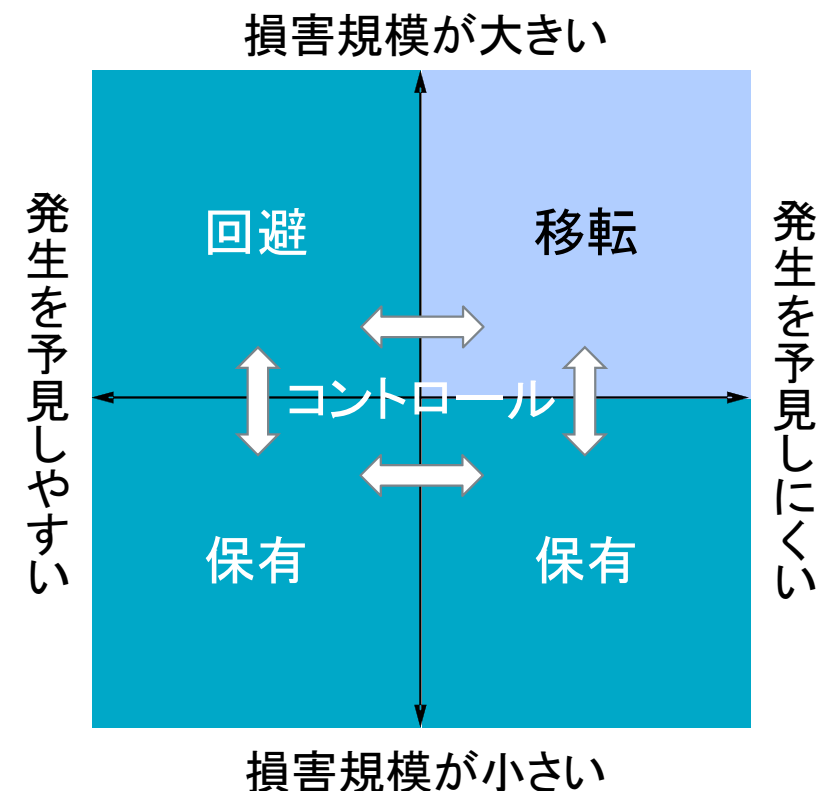
# どのような保険リスクがキャプティブに向くか FSM CICキャプティブ・セミナー

2016年10月20日 @ 青山ダイヤモンドホール

マーシュブローカー・ジャパン 株式会社  
リスクファイナンス アドバイザリー  
プラクティス・リーダー  
田嶋 英治

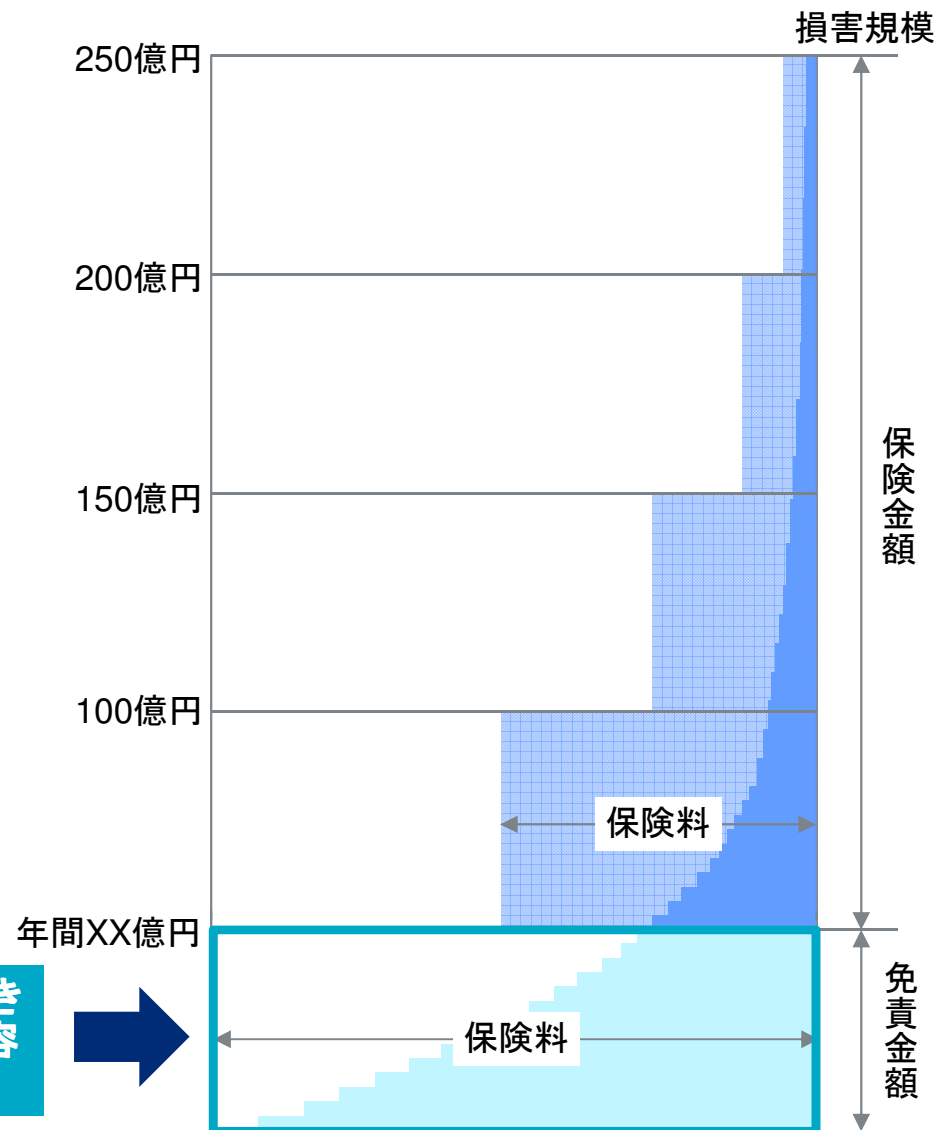
# 自家保険キャプティブは、原則、どのようなリスクも対象にできる 保険料の大きさと、自己負担する意思の問題

- コスト削減効果を得るためには、保険料が最低1億円になるようなリスク(単体または複数)をキャプティブに投入する必要がある
  - 毎年数千万円の維持コスト(運営費用、再保険手数料) + 再々保険コスト(オプション)
  - **保険料が大きいリスクはコスト削減余地も大きい**(付加保険料がたっぷり乗っている)
- 高頻度・低損害額・低ボラティリティのリスク
  - 海上貨物、延長保証、米国労災、従業員福利厚生費用(団体生保・医療)など
- 低頻度・高額損害リスク(火災、賠償など)
- 保険の形式が必要な場合(賠償、ボンドなど)
- **グローバルプログラム全般(特に向いている)**
  - 各国・個社の事情を斟酌しやすい
- **規制の厳しい種目や競争が激しいリスクは避ける**
  - 例えば、自動車保険、航空保険
  - 保険料規模が数十億円ならば検討の価値大



# 巨大損害リスクとキャプティブは相性が良くないと言われる... 収益目的キャプティブならばその通り！

- **大規模な**テロ災害、地震、リコール、サイバー事故(情報漏洩)など
  - 発生確率は極めて低い
  - 発生すると経済的インパクトが極めて大きい
  - 頻度と規模の予測が難しく、**保険会社は引き受けたがらない**
- 一般的な選択肢は・・・
  1. 保険を買わない(全額自家保険)
  2. 高額免責条件の保険を買う(ミックス)
- 高額免責部分ならばキャプティブに向いている
  - 高額免責部分は**保険料ボリュームが大きい**
  - 許容可能なリスク量である



## それでは、許容可能額はどうやって決めればいいのか？ すべてのリスクに共通の課題

- 表裏一体の関係
  - 許容可能額はいくらか？
  - 最適な保険金額はいくらか？
- リスク全体のコストを把握しなければ決められない
  - 業種、ロスヒストリー、財務状況が異なれば、最適な許容金額、保険金額も異なる

次のトピックにつながります



## 免責事項／Disclaimer

This information was prepared by Marsh Inc. (“Marsh”), the insurance brokerage entity of Marsh & McLennan Companies, and Marsh Japan, Inc. (“MJ”) /Marsh Broker Japan, Inc. (“MBJ”), the subsidiary(ies) of Marsh Inc. for use in Consulting and Marketing Presentations. This material contains information that is considered confidential or proprietary to Marsh, MJ/MBJ and /or clients and is presented on the condition that the information be used by the recipient only to evaluate the consulting/transactions proposed herein. Further, the information is intended for the exclusive use of the recipient and not for dissemination to any third party without MJ/MBJ’s prior written permission. Information contained here is believed to be reliable, but neither MJ/MBJ nor Marsh warrants its completeness or accuracy. Opinions and estimates constitute our judgment and are subject to change without notice. All statistical tables, charts, graphs or other illustrations contained herein were prepared by MJ/MBJ and Marsh unless otherwise noted. MJ/MBJ and/or Marsh may have an independent business relationship with any of the companies described herein. Statements concerning tax, accounting or legal matters should be understood to be general observations based solely on our experience as insurance brokers and risk consultants and may not be relied upon as tax, accounting or legal advice, which we are not authorized to provide. All such matters should be reviewed with the client’s own qualified advisors in these areas.

これらの情報は、マーシュ・アンド・マクレンアン・カンパニーズの保険ブローカー分野を担当するマーシュ・インク(Marsh)及びその子会社であるマーシュ ジャパン (MJ)/ マーシュ ブローカー ジャパン (MBJ)がコンサルティングとマーケティングのプレゼンテーションのために、収集・使用されたものである。これらの資料は対外秘の情報やMarsh, MJ/MBJあるいは顧客の財産権に帰属するものが掲載されており、それらは受取人(顧客)がコンサルティングなどの提案書を評価する事を目的にのみ使用されるものである。さらに、これらの情報は唯一受取人(顧客)の利用のために作成されたものであり、MJ/MBJの書面による許可無しにいかなる第三者にも開示してはならない。本編に掲げられている情報は信憑性のある情報であるが、MJ/MBJあるいは Marshのいかなるものもこの完成度と正確性を保証はしない。掲載されている見解や予測はMJ/MBJあるいは Marshの判断によって構成されており、通知無しに内容を変更することもある。統計表、チャート、グラフあるいは本編に描かれている他の図表などすべては注記のない限りはMJ/MBJ およびMarshが作成している。MJ/MBJおよび Marshは本編に掲載された実名の企業と個別に業務/営業契約や関係を有していることもある。税、会計または法律にかかわる事項に関する記述は、MJ/MBJおよびMarshの保険代理店または保険仲立人、およびリスクコンサルタントとしての経験のみに基づく一般的な所見にすぎず、専門的な助言として依拠してはならない。税、会計または法律にかかわる事項についてMJ/MBJおよびMarshは助言を提供する資格を有しない。これらの事項はすべて顧客自身が依頼する各分野における資格を有する専門家により検討されるべきである。

Copyright © 2012-2015 Marsh Inc./Marsh Japan, Inc./Marsh Broker Japan, Inc.

